



# 公開講演会のご案内

主催：立教セカンドステージ大学

2010年12月9日（木） 18:30～20:00

池袋キャンパス 8202教室（8号館2階）

## 「在宅ひとり死は可能か」

日本における病院死、在宅死、施設死の割合はおよそ80：14：6である。在宅死は手厚い家族介護力のある高齢者の特権だと思われてきたが、シングル化の進行のなかでも、「おひとりさま」は病院死か施設死の運命のもとにあるのだろうか。在宅ひとり死は「孤独死」ではない。生の最期を在宅で、それもひとり世帯で、むかえることは可能か。医療・看護・介護の連携のもとでそれを支える実践現場の取材から、その問への答えを引き出す。

講師：上野千鶴子氏（東京大学大学院文学研究科教授）

≪講師略歴≫

京都大学文学部卒業。平安女学院短期大学助教授、京都精華大学教授を経て、現職。

対象：本学学生、教職員、一般

受講：無料

申込：不要

問合先：立教セカンドステージ大学事務室

（電話 03-3985-4672）

立教セカンドステージ大学は、シニア層の人たちがセカンドステージの生き方を自らデザインする、というコンセプトを設立の原点とし、人文学的教養の習得を基礎とした「学び直し」と「再チャレンジ」のサポートを目的とした新たな学びの「場」です。